

「砂川市過疎地域持続的発展市町村計画（素案）」にお寄せいただいたご意見と砂川市の考え方

○意見募集期間：令和7年12月15日（月）～令和8年1月14日（水）

○意見提出者数：1人

○意見提出数：1件（個人1件）

○意見要旨及び意見に対する砂川市の考え方

※意見などについては原文の通りとしていますが、一部読みやすくするため修正などを行っています。

No.	寄せられたご意見など	ご意見などに対する市の考え方
1	<p>お互いに思いやり、支え合う意識を持って自助、互助、共助の力を高めていかなくては、今後、益々高齢化が進んでいくことを考えると施設等を増やしてもそこで働く人がいないという事態も考えられる。市民が、つながり、助け合える仕組みが整えられ、今から安心した将来が描ければ、市民の満足度も高まり、市外からの移住の動機にもなり得るのではないかと思います。イメージとしては、長屋住まいのようなつながり、ひとり親世帯の援助、高齢者の生きがい、助け合いもできる環境として、「助け合い、思いやり」をコンセプトにして、古くなった公営住宅の再整備をしてみてもどうかと考えます。</p> <p>また、オアリパのアプリ等を利用して、ニーズの掲示板、人やボランティア(地域通貨による支払い)、団体、サークル等を紹介してつなげるシステムはできないだろうか。</p>	<p>公営住宅の再整備につきまして、市では「砂川市公営住宅等長寿命化計画」に沿って整備を実施しています。人口、世帯数の動向、持家や民間の供給状況、住宅需要に応じた適正管理戸数の維持のほか、適切な維持保全を行うなど、安全で良質な住宅ストックを整備し、長期的に活用するための計画的な取り組みを進めています。</p> <p>今後見込まれる少子高齢化のさらなる進行を踏まえ、子育て世帯や高齢世帯の住宅ニーズや将来供給必要戸数の分析を行い、地域で支え合う住民間のコミュニティとして用途廃止予定住宅の利活用等も視野に入れ、総合的に公営住宅の再整備を進めてまいります。</p> <p>また、市ホームページにおいて市内団体の活動内容や公民館サークル等を紹介しておりますが、現時点において個人や団体等を</p>

		<p>つなげるシステムについては構築しておりませんので、今後、地域のつながりを創出する1つの方法として、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
--	--	--